

3階みなみ・透析室



腎臓内科 糖尿病・内分泌内科 眼科



平成30年4月より

「3階みなみ」

と

「透析室」が



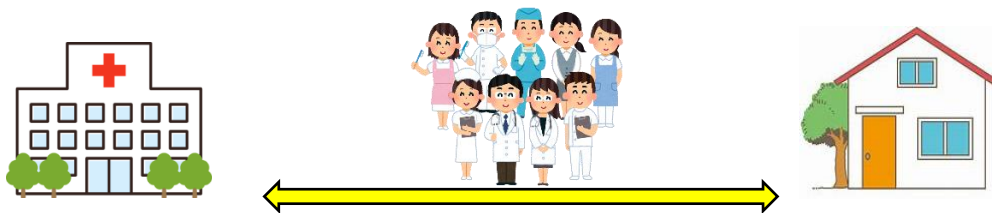
「1つの部署」になりました。

3階みなみ：腎臓内科 糖尿病内分泌内科 眼科の混合病棟

笑顔を絶やさず、患者・家族に寄り添った専門的な看護の提供を目指しています。入院中には糖尿病教室・腎臓病教室が開催され、治療期間中の教育等も行っています。また、退院支援カンファレンスの実施により退院後の生活を見据えた個別的な医療の提供を実践しています。

透析室：腎代替療法（血液透析・腹膜透析）の実践

当院は、道北および道東地区の基幹病院として腎疾患を総合的にカバーしており、「血液」「腹膜」の2つの透析を実践しています。血液透析を行うベッド数は30床あり、午前・午後の2部構成にて入院患者と外来通院の方に対して血液透析を行っています。腹膜透析は約70名前後が当院での治療を受けており、異常の早期発見や在宅治療における様々なトラブルに対応しています。透析療法は基本的に永続的な治療法です。透析療法を受けている方々の様々な場面における思いを受け止める必要があるため、信頼関係を構築するための「ホスピタリティ」を重視し、安全・安楽な透析療法の実践を目指しています。



病院での入院期間中に限らず、在宅での生活を見据えた対応をしています。